

はい!よろこんで!!

2022 December Vol.65

愛媛県今治市倫理法人会(事務局)
〒793-0003 西条市西ひうち6-12
TEL: 0897-56-1930 FAX: 0897-56-1986



設立20周年記念事業 今治市倫理法人会特別ナイトセミナー ~BEMAC そして私の成長軌跡とみらいに向けて~



BEMAC株式会社 代表取締役社長 小田 雅人氏

学歴：明治大学政治経済学部卒業、カリフォルニア大学サンタバーバラ校留学
団体歴：一般社団法人日本船舶電装協会常任理事、四国船舶電装協議会会長、
一般社団法人日本船用工業会副会長



講演会には116社151名の参加がありました。

10月28日18:30より、今治国際ホテル クリスタルホールにて『設立20周年記念事業 今治市倫理法人会特別ナイトセミナー』BEMAC株式会社 代表取締役社長 小田 雅人氏による講演会が開催されました。

皆さん、こんばんは。まずは今治市倫理法人会設立20周年誠にありがとうございます。

BEMACは2012年に名称が変わって、それまでは渦潮電機という名称でした。渦潮電機の誕生ということでは戦後の翌年1946年漁船「渦潮丸」が生まれました。この渦潮丸という船は、みらい工場の3階に今でも飾っています。当初、私の祖父が漁業を営んでおり、その漁船の2号艇が盗難に遭いました。その2号艇が盗まれたことによって、翌日から知人に色々相談しながら当時、橋の近くにイカ釣り船がたぐさんおりまして、その集魚灯のバッテリーを1回陸に上げて、今治市内まで充電に持って行き、またそれを船に乗せていくという仕事のお話をいただきました。結構重労働で大変ですけど、そこから船、電気、バッテリーというような、渦潮電機が生まれました。BEMACと私の歩みと成長軌跡ということで、私の中でBEMAC設立のきっかけとなった出来事が2つございます。1995年から2000年来で、ヨーロッパに年3回か4回、船で通って始めていくことがほとんどですが、なんとか、私のことは受け入れてもらったのですが、渦潮電機という名前が覚えてもらえないし、特に欧米の人にとっては、渦潮が読みづらい、覚えられないっていうことは存在しないも同じだと思いをもちながら通い続けたという時代がありました。当時、渦潮電気が何をしているのか、どこを目指しているのかという発信が、社内にも社外にも、ほとんどされていない状態でした。理念を掲げないと、それに共感するような人材も入ってこない。悪循環になってくるわけです。そのために、海事の戦略として2001年にブランドを考える前に光律探求企業を制定。そもそも渦潮電機というのは何をやる企業なのか、電気、光、いろんなものに光を使って律道を変化させて、何かを作り上げている企業であるという思いも込めて、光律探求企業という造語で立ちあげました。それに連なって、コーポレートブランドBeam Metrical Alternative Creation、光を使って新しいものを生んでいく事業体という思いを込めてBEMACという制定をしました。2014年の2月から東南アジアのジャカルタに2週間ぐらい出張で行った時に、体の異変に気づき緊急入院。体が硬直して全く動かないという状況で、入院を3週間ぐらいしました。自分は治療に専念しますということで、いろんなことを考えるきっかけになり、自分の存在意義とは何だ

ろうと考えました。3つに集約されます、まずは自分の息子・娘、この2人が精神的に自立して、自分自身を人生の主役として幸せな人生を送れるように厳しく、優しく、愛情いっぱい育てることが、私の生きる意味だな。次にBEMACが幸せ溢れる存在となって、社員の人たちが自立した大人たちに育ち、価値や目標に向かって学び続ける模範であることだと思いました。3番は広い意味合いですが、お互いに傷つけることなく、高められるような世界になるような行ないを1つずつ、小さいものから積み重ねていこう。これを人生で達成することが、私の存在意義だということに、たどり着きました。

最後に54年が過ぎてみて、順調な人生だけの人って、全くいないと思います。やっぱり葛藤、気付き、挑戦、失敗、全てトライ&エラーの繰り返しであるというふうに変更して思っています。絶対前に進むことを忘れないという思いで、これからも進んでいきたいなと思います。私が54歳になって楽な生き方って何だろうなと思って考えた答えが3つあります。まず、『嘘は言わない、言い訳もしない』これをやると、人生の半分はシンプルな生き方ができるかなと思っています。2つ目は『難しいと思われることに取り組む続けること』これは本当にちょっと手が届かないっていうところのことに挑戦し続けるということ。最後の1つは『一生懸命働いてから遊ぶこと』先に遊ぶのではなく、ちゃんと仕事してから遊ぶ、そうすると、ご褒美的なものがあります。私も人生1回きりで、どういふふうな道を歩いてきたかなというのを振り返る機会を、いただけたことに感謝致します。少しでも皆さんの気づきになれば、本当に幸せです。本日は、どうもありがとうございました。



安永会長の挨拶



講話終了後の山本会員と越智相談役との記念撮影



親睦バスツアー『再発見!城下町 宇和島満喫の旅♪』

令和4年11月6日(日)今治市倫理法人会恒例の親睦バスツアーが開催されました。今回は愛媛県内の旅行ということで「再発見!城下町 宇和島満喫の旅♪」と題して宇和島の名所天赦園、伊達博物館、郷土料理のお店 料理田むら、宇和島市闘牛場、道の駅ささいや広場などを巡る盛り沢山の内容。朝8時に今治駅を出発。安永会長挨拶の後、道中では安井会員よりバスツアーの内容説明があり、期待を膨らませながら目的地に向かいました。最初に訪れた場所は天赦園。伝統芸能宇和島さんさ観賞と会員も一緒に踊りを楽しみました。続いて伊達博物館へ。宇和島伊達家歴代藩主の甲冑をはじめとして、馬具・刀剣類等の武具が多数展示されており、特別展として重文豊臣秀吉像の展示を見学しました。そして昼食は料理田むらで郷土料理の丸ずし

やふくめんを堪能しました。続いて獅子文六の小説の舞台となった津島岩松町並みを散策。到着すると宇和島市倫理法人会の田中会長がお出迎え。ここでは地元のみちづくり団体が作った生甘酒を堪能。ノスタルジックな町並みを眺めながら満喫しました。続いて道の駅津島やすらぎの里で田中会長の息子さまの太鼓を聴かせていただきました。続いてツアーの目玉宇和島市営闘牛場へ。迫力ある観光闘牛を見学し、闘牛がぶつかり合う度に「おー!」「凄い!!」の歓声が上がりました。そしてツアーの最後は道の駅ささいや広場にてお買い物。両手いっぱいにお土産を抱えながら皆さんご満悦。帰路の車内はお休みモードの中、光藤相談役の景品付きクイズ大会で最後まで楽しく親睦を深め合った大満足の日となりました。30名の参加がありました。



天赦園にて



宇和島さんさ踊りを体験



料理 田むらの色鮮やかな郷土料理



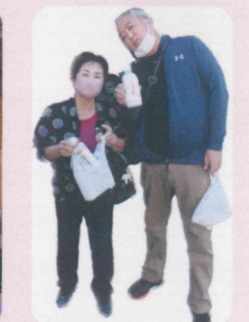
宇和島市営闘牛場



伊達博物館にて武士に大変身



樹齢約900年の大楠による日本一の樹根太鼓



生甘酒を買ってご満悦

今治市倫理法人会第89回奉仕作業

今回は10月29日(土)に四国初の自転車レース競技である『今治クリテリウム』が開催されることもあり、今治みなと交流センター(はーぱりー)周辺及び港周辺のレースコースにて行いました。当日は今治クリテリウム実行委員会、せとうちみなとマルシェ運営委員会、(公社)今治青年会議所の各種団体の皆さんと総勢70名もの人数で清掃活動を行いました。今後も各種団体と連携を取りながら地域を盛り上げていきたいと思ひます。



回収したゴミと一緒に全員で記念撮影



各団体から挨拶と活動紹介がありました